

パネルディスカッション

○パネルディスカッション概要



各金融機関の発表内容について、各パネリストから感想・意見を述べてもらうとともに、本シンポジウムのテーマ「地域活性化・中小企業の成長に向けて～地域金融機関の役割～」に関するディスカッションを行いました。

1. プレゼンテーションを受けての感想・意見

- 富山銀行の取組みについて、産・学・官・金が連携してプロジェクト実行委員会を支援し、若者(学生)も巻き込んだ取組みは地域活性化に大きなインパクトがある。地方銀行として地域に入り込み、一員として繋がりを深め、地域との距離感を縮めることで信頼を得たことは大きな成果であり、今後の金融支援にも繋がっていくのではないかと。
- 地域を活性化させていくために必要なことは若者を地元に着させることと、その地域に着させて活性化させることが大事だと思う。
- 経営改善、再生期にある取引先を対象にする経営支援チームと成長支援や事業承継、6次産業化支援等幅広く手掛ける営業支援チームを一つの部屋(室)に同居させ取引先のライフステージに応じたサポートを行う大分銀行の取組みは先見的、画期的なことだと思う。
- チーム大分銀行として本部と営業店が一体となって中小企業支援に取り組んでいることは本当に素晴らしいことだと思う。

2. フリーディスカッション

(1) 中小企業の成長を促し地域活性化を図るため、金融機関にどのような役割を期待するか

- 企業とその企業の夢を実現させるための「架け橋」が金融機関の役目。事業計画策定からアフターフォローまで、より密接な濃い繋がりを継続してほしい。
- 一支援機関だけの経営支援では、中小企業の支援に限界。様々な機関と連携を図り一体となって、それぞれのノウハウを有効活用し中小企業を支援する必要がある。各支援機関との関係を密にし、情報の共有が図れるレベルまでの連携体制の構築が重要。

(2) 地域金融機関に求められる役割、また中小企業への助言について

- 環境変化が今までと違ってきており、これに対処するには企業自身がやはりチャレンジしないと行けない。金融機関はそのチャレンジする企業をいかに応援していくかが重要。中小企業は自らが持つ経営課題をしっかりと認識し、そこを金融機関としっかりとすり合わせる事が大事。
- 今、地方銀行は総合サービス産業に変貌を遂げており、いろんな形でサポートができる。中小企業は自らがどこに問題があるのかということと一緒に考えてほしい。新しい分野を育てたり、地域の面的再生の際には、金融機関と中小企業が一緒になって考え、双方向の対話をしていくことが重要。

3. 総括

- 地域密着型金融を推進するにあたり、関係支援機関の「連携」が不可欠。その連携の要として地域金融機関には中小企業とともに従来の殻に捉われない効果的な仕組み作りを提案し、実践していくことが地域経済の期待であると考えます。

○コーディネーター



熊本学園大学
商学部教授
安田 嘉明 氏

○パネリスト (50音順)



宮崎県商工会議所連合会
専務理事
倉掛 正志 氏



富山銀行
代表取締役頭取
齊藤 栄吉 氏



株式会社ビッグバイオ
代表取締役社長
阪本 恵子 氏



大分銀行
代表取締役頭取
姫野 昌治 氏